

磐城時報

尾繁氏令兄松野尾陸軍歩兵大佐を迎えて軍事座談會を開催すべく計劃交渉を進めてゐる。

第三校敷地買収

地主側に最後の接衝後 不應の際に當分放置する

委員會議態度決定

平町第三小學校の運動場擴張計經過の報告後協議に入つたが、書による敷地買収問題は第三小結局委員會に於いて更に不應學校臨時増築委員會が地主側との地主五氏に最後の接衝を試み頻りに交渉を進めてゐるが地主側地四百二十三坪の買収価格は六名中町の買収價格坪三圓の交坪三圓以上に釣上不能を前程と涉に應じたのは諸橋久太郎氏のして妥協点を發見する様努力すみて諸橋國松、酒井常吉、長谷事なり萬一地主側に於いて川浩太郎、山下芳久、齋藤又三此の交渉に應じない時は當分成郎の五氏は坪一圓以上三圓程度に行きませ既に指定された都市までの買収價格釣上を要求して計畫法實施まで放置都計法によ交渉行進んだ結果町當局では最る土地收容の舉に出づること、後の態度決定する爲め今十一日なつた。

期成同盟會を召集

金澤所長を排撃

紛糾の四倉築港問題 遂に表面化する

紛糾に紛糾を重ねて来た四倉築港之れが爲め同町漁業組合では昨港問題はその後金澤所長の態度十日午後一時から激を飛して全依然として改まらず町民間側の町各漁業関係者の參集を求めて要望を一蹴して自己の設計通り善處策打合せの座談會を開き協の工事を續けてゐる結果遂々議論の結果現在の金澤所長が在して進捗せず殊に同町漁業家の任する限り築港の進捗は到底望死活に關する船溜場は設計工事されずとして全力を擧げて同所の不備から流入土砂の爲め殆ん長を排斥する事となり明十二日と埋盡されて使用不能に陥つた午後一時から同組合樓上に築港

軍事座談會

十三日會計畫

期成同盟會を召集築港促進と金澤所長の排撃を決議場合によつては町民大會を開催して猛運動を決定する事になつた。

小山田課長表彰

共産黨事件の端緒を掴み 今日畑山知事から

昨春五月九日突如常磐炭界一圓に亘る赤化の大陰謀發覺一齊檢舉を見た常磐共産黨事件の一切を擧げて福島に廻付されたが、戦慄すべき此の大事件發覺の端緒を掴んだのは當時詳報した如く湯本町入山炭礦人事課長小山田滋氏の功績であり、縣當局に於いても此の表彰に就いて考究中であつたが十二月二十八日付で今十一日畑山知事から金一封を添えて次の如き表彰状を贈られた。

十二月二十八日 知事 畑山四男美

鴨川第二發電所

小川村西小川地内東部電力鴨川から住吉屋本店に於いて十日會第一發電所は創業以來好成绩をを兼ねて幹部懇親の新年宴會を續けてゐるので同會社では本年開催青沼町長、横山署長、警備度内に第二發電所の設置を計劃委員、諸橋、鈴木其の他各顧問來賓出席近來の盛會であつた。

政友會大會に

關内正一氏出席

二十一日は總裁の招宴

政治シーズンに入つて議會再開關内正一氏は本部代議員としてを前に中央、地方政界は極度の鈴木英亮氏と共に大會に出席する緊張を見せつつあるが、政友會の事になり十八日東京の筈。尙が豫定通りの進捗を見せ近々落黨大會代議員會は二十一日、院二十一日大會終了後芝三線亭で盛大大會は十九日各々も東京本部開催の鈴木政友會總裁の招待宴會に於いて開會する事に決定平町に臨み二十二日歸平の豫定。

江名町の 初貯藏

五百石

米穀統制法による本郡の初貯藏割當が既報の如く決定されて以來郡下各町村ではそれ〴〵貯藏に努めてゐるが江名町では縣赤津技手の指導により下神白部落海月善四郎方土藏に二百六十石、上神白部落丹野彦太郎方土藏に二百四十石合計五百石の貯藏了した。

箕輪村會補欠戰

候補者出揃はぬも競争激甚か 十四日執行と決定公示

箕輪村々會議員高萩國太、小沼してゐるだけであるが期日接迫末藏兩氏の選舉違反失格によると共に四名位いの立候補あるも欠員二名の補欠選舉は來十四日のと觀られ競争激甚と豫想し所執行と決定公示されたが投票所轄平署では警戒の眼を光らしては同村第二小學校目下のところある。前記高萩氏が既に再出馬を聲明

自動車に跳飛され

助手瀕死の重傷 昨日江名地内の椿事

江名町中の作字榎戸吉田金司方前年から疾走して來た同家運轉雇運轉手遠藤六郎(二八)は昨十手加藤正のトラックと撞違つた日午後六時頃乗客が満員の爲際助手佐藤は振り落されて大股め助手佐藤留郎(二二)を泥除け部其の他全身に全治六週間を要臺上に乗せて同村地内を疾走中する重傷を負つた。

平消防幹部新年會

今日住吉屋本店で盛會

平消防組では今十一日午後五時小川村西小川地内東部電力鴨川から住吉屋本店に於いて十日會第一發電所は創業以來好成绩をを兼ねて幹部懇親の新年宴會を續けてゐるので同會社では本年開催青沼町長、横山署長、警備度内に第二發電所の設置を計劃委員、諸橋、鈴木其の他各顧問來賓出席近來の盛會であつた。

初貯藏庫

小川村建設

小川村上小川信用組合では初貯藏倉庫建設の計劃中であつたが工費三千圓を投じ石造倉庫建設と決定今十一日着工した。

匡救事業成る

四倉町の

四倉町では匡救事業として同町本町郵便局向ひから海岸に連する道路改修を計畫工費千四百圓を投じて去十二月初旬起工した。が豫定通りの進捗を見せ近々落成するので十五日午前九時から盛大な竣工式を舉行する事になつた。

關西旅行 團體募集

平驛主催で

平驛では次の如く關西旅行團體の募集を開始した。

◎期日 第一回二月二十五日出發、三月二日歸着、平始發常磐線經由、第二回二月二十七日出發、三月四日歸着、水戸始發水戸經由、第三回三月二日出發、三月七日歸着、平始發常磐線經由

◎人員 各回五〇名

◎行程大要

第一日 出發車中宿泊

第二日 京都着自動車にて市内及桃山御陵、伏見稻荷、嵐山巡りの上京都三條小橋附近宿泊

藥局開業

處方調劑 川崎藥局

明治藥學士古市壽平 四倉仲町 電話百十七番

第三日 京都出發高野山詣での上奈良猿澤の池附近宿泊

第四日 奈良市内見物の上出發伊勢山田着驛前宿泊

第五日 伊勢大神宮參拜大々神樂奏の上二見ヶ浦及附近見物の後山田旅館にて夕食後出發、車中宿泊

第六日 東京着約五時間市内見物の上歸路

◎費用概算

第一回、第三回 二十四圓二七錢

第二回、第四回 三十四圓二七錢

内譯 汽車賃四割引と其の他の費用金一三圓八〇錢

其の他には宿泊三回、食事六回、京都市内自動車、高山山參詣電車、ケープルカ、田市内及二見ヶ浦電車、伊勢大神宮特別大々神樂奉奏料、救護、茶碗茶料の一切を含みます。

重ねくの違反行為で 東部電力戒告とる

怒った逓信當局

(上)
逓信當局では最近電気事業法の改正を行つたばかりで、一般規定が煩雜してゐる点に顧み取締方法についても考慮を拂つてゐる。殊に之が實施には業者對需用者間變電所を認可を經ずして建設し、或は、徒らに刺激を與へることを差し控へ慎重を以て受けること共に始末書まで取られるに拘らず、事業者中には、料金問題の紛争を恐れて稍やもすると認可制を楯に監督官廳に責を嫁して顧みない狡猾極まる業者もあり、當局が改正當初であるといふので手加減を加へ寛大な處置に出るのを幸ひとして火事泥的に脱法行為を平氣で行つて濟まし込んでゐるなど、この瞞着的態度には逓信當局も極度に憤慨してゐる。矢先偶々後記の如き仙臺逓信局管内に起つた三事業者の違反行為に對して、舊職嚴重なる戒告をするに至つたが、特に東部電力會社は再度の違反とあつて酷しくキメラケラレたのである。元來無届又は許可なくして發電所、變電所、送電線等、其他工作物建設は業者從來の常套手段とされてゐた、逓信當局も需用家の便宜と供給業者の立場を慮はかり大體默認して來たものである。然るに近頃その違反が夥しく増加し僅の注告位には耳を籍さず、監督官廳には改訂事業法と相俟つて徹底的に之を取締を嚴にするに至つたものである。

昨冬松玉に擧つた三事業者といふのは東京に本社を置き福島縣に事業を営む東部電力株式會

果實、甘藷切干
茨城屋商店
平町一丁目
電話四四〇番

機械用木型製作
大野製作所
平町古鍛冶町

ゴム靴・革靴・靴類
菊地靴靴店
平町四丁目

謹賀新年
相馬版

賀原 鹽谷雄周
正町 半野時雨郎
大橋友成

原町營林署 署長 野坂秋榮
太田村長 高野將衛

太田郵便局長 西哲治
磐城太田驛長 仁志好助

經驗 破雲丹
奇方
栃久保眼科醫院
院長 栃久保 蒨
女醫 栃久保 綾子
小高町下町 電話架設中

司法代書人 鈴木重雄
小高町

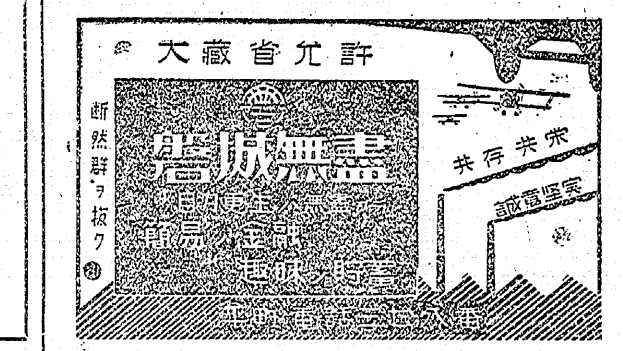
土木建築請負 太田組
原町旭町

太田光榮
原町旭町

割烹 和泉家
小高町
電話二・七三

斯界の權威 大塚の靴
品價と三拍子揃へて
視切味の最新型……御案内
三四年式は黒革洋製品
ゴロフ形半ホタン靴
先エナメル 八圓より各種
學生靴自家製品
短靴 編上靴 五圓
編上靴 六圓
平・田町
大塚製靴部
運動具部
電話七十七

貸切車の御用命の際は是非電話六四〇番
是非電話六四〇番
ニーへた願ひします
新車も購入致しました
平町二丁目
尼子タクシー
電話六四〇番



電話開通披露
本日より電話五十五番を
開通致しました御利用を願ひます
四倉町字新町(松之月向ひ)
音昇魚店
電話五十五番

日本共立生命保險會社
平出張所長 志賀寛
平町堂の前 磐城訓盲院隣
▽有給社員招聘

銘酒 最優等賞
入賞披露
於福島縣第九回清酒品評會
於東北六縣第六回清酒品評會
首優等賞
濱三郡特約店 永山酒店
平町田町
電話二〇七番

吉田眼科病院
平町紺屋町
電話六八番

内科 小兒科
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平四〇七番